

日本語教育を取り巻く政策的動向について考える

～推進基本法・外国人受け入れ施策・そして「私達の地域」～



<ご存知ですか?>

日本政府は今までの外国人受け入れ施策を大きく転換し、労働者の受け入れに踏み切りました。また、まもなく「日本語教育推進基本法」という新しい法律が誕生します。今回は、政治的な動向や新法の中身を理解したうえで、「私たちが地域ぐるみでできること」を皆さんとともに考えてみたいと思います。



日時： 2018年 10月20日（土） 午後 3:30 ～ 5:30

場所： クリエイト浜松 21 講座室 浜松市中区早馬町2-1

※OGURI パーキングをご利用の方のみ、サービス券が出ます。

対象： 定住外国人支援に関わる方々 参加費： 無料

定員： 40名 申込： filipinonagkaiya@yahoo.co.jp

※「お名前」「ご所属先」「連絡先」「10/20 参加希望」と記して下さい。

【講師紹介】



神吉 宇一 氏 武蔵野大学大学院言語文化研究科准教授

東京生まれ、九州・小倉育ち。大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程単位取得満期退学。小学校教員、政府系財団職員をはじめ、30以上の正規非正規の職を経て、2013年より大学教員に。2016年4月より現職。

日本語教育学会副会長、文化庁文化審議会国語分科会委員ほか。著書に『日本語教育 学のデザイン』（編著）2015、凡人社、『未来を創ることばの教育を目指して』（共編著）2015、ココ出版、『複言語・複文化時代の日本語教育』2016、凡人社、『外国人労働者受け入れと日本語教育』（共著）2017、ひつじ書房、他多数。

主催：NPO 法人フィリピンナガイサ

後援：浜松市、静岡放送・静岡新聞社、中日新聞東海本社